

## 平成26年度における温室効果ガス等の排出の削減に 配慮した契約の締結実績の概要

独立行政法人地域医療機能推進機構

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成26年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

### 1 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている電気の調達、自動車の購入及び賃貸借、船舶の調達、省エネルギー改修事業（ESCO事業）、建築物の設計及び産業廃棄物処理については、平成26年度の調達の実績は別添の通りである。

### 2 その他の環境配慮契約に係る事項

- ・事務用品等の調達に関しては、グリーン購入法に基づき、環境物品等の調達の推進を図るための方針を策定し、環境に配慮した物品の調達に努めた。
- ・温室効果ガスの排出削減に配慮すべく、クールビズおよびウォームビズに取り組むとともに、廊下照明の半分消灯等電気使用量の軽減に努めた。

## 電気の供給を受ける契約 平成26年度実績調査（集計表）

調達機関： 独立行政法人地域医療機能推進機構

## (1) 入札の実施件数

電力の供給を受ける契約締結件数			
	(A)	(B)	(C)
総数(合計) ※入札(裾切り方式)によらない場合を含む	入札(裾切り方式)を実施した件数	競争入札(裾切り方式は未実施)を実施した件数	随意契約(50kW以上)を実施した件数
66 件	うち 0 件	うち 0 件	うち 66 件

注)平成25年度中の契約締結件数が対象。

## (2) 予定使用電力量の集計

予定使用電力量(kWh/年)			
	(A)	(B)	(C)
合計 ※入札(裾切り方式)によらない場合を含む	入札(裾切り方式)を実施した施設の予定使用電力量	競争入札(裾切り方式は未実施)の施設の予定使用電力量	随意契約(50kW以上)の施設の予定使用電力量
263,251,816 kWh	0 kWh	0 kWh	263,251,816 kWh

## 自動車の購入及び賃貸借に係る契約 平成26年度実績調査（概要）

調達機関：域医療機能推進機構

### （1）総合評価落札方式による自動車の購入及び賃貸借の実績

自動車の購入台数	
総数 ※総合評価落札方式によらない場合を含む	左記のうち総合評価落札方式による購入台数
7 台	うち 0 台

自動車の賃貸借台数	
総数 ※総合評価落札方式によらない場合を含む	左記のうち総合評価落札方式による賃貸借台数
5 台	うち 1 台

注) 短期間のレンタルを除き、概ね(※)1年程度以上の場合及びそれ以下の期間だが環境配慮契約した場合に限る。

※「概ね」とは、契約手続き上、微妙に1年に満たない契約は含むという意味。例えば、4月6日から翌年3月31日までの契約であれば契約期間は1年に満たないが、「概ね1年程度以上」に該当する。

### （2）総合評価落札方式を採用しなかった理由

（総合評価落札方式によらない調達があった場合に回答）

#### 【購入】

- ・少額随意契約としたため
- ・補助事業による購入のため、一般競争入札とした。

#### 【賃貸借】

- ・対象となる車種（福祉車両）が2車種に限られたため。
- ・現行車を再リースした方が安価なため

## 船舶の調達に係る契約 平成26年度実績調査（概要）

調達機関：立行政法人地域医療機能推進機

## (1) 環境配慮型船舶プロポーザル方式の実施実績

船舶の調達における概略設計又は基本設計に関する業務の発注件数		
総数 (a) ※環境配慮型船舶プロポーザル方式によらない場合を含む	(a)のうち、プロポーザル方式を実施(環境配慮型船舶プロポーザル方式は未実施)した件数 (b)	(a)のうち、環境配慮型船舶プロポーザル方式を実施した件数 (c)
0 件	0 件	0 件

注) 自機関において設計した船舶は対象としない

(2) 環境配慮型船舶プロポーザル方式を採用しなかった主な理由  
(環境配慮型船舶プロポーザル方式によらない調達があった場合に回答)

理 由	件数
ア) 当該船舶の用途に照らして温室効果ガス等の排出の削減以外の項目が特に優先される	
イ) 温室効果ガス等の排出の削減について設計上の工夫の余地がほとんどない	
ウ) その他	

上記、ウ)に該当する設計業務がある場合、その事情

## (3) 環境配慮型船舶プロポーザル方式を実施した場合、設計者に求めたテーマ

省エネルギー改修事業に係る契約 平成26年度実績調査①

調達機関: 独立行政法人地域医療機能推進機構

※フィージビリティスタディの実績がない場合は右欄で「実績なし」を選択⇒

実績なし

フィージビリティ・スタディの実施状況

1	対象施設名					
	施設概要	延床面積計	m <sup>2</sup>	棟数	棟	契約電力 kW
		空調設備				
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果	
備考						
2	対象施設名					
	施設概要	延床面積計	m <sup>2</sup>	棟数	棟	契約電力 kW
		空調設備				
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果	
備考						
3	対象施設名					
	施設概要	延床面積計	m <sup>2</sup>	棟数	棟	契約電力 kW
		空調設備				
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果	
備考						
4	対象施設名					
	施設概要	延床面積計	m <sup>2</sup>	棟数	棟	契約電力 kW
		空調設備				
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果	
備考						
5	対象施設名					
	施設概要	延床面積計	m <sup>2</sup>	棟数	棟	契約電力 kW
		空調設備				
	フィージビリティ・スタディ	実施年月	年	月	結果	
備考						

※行が不足する場合はこの下にコピーしてください(このシートは保護していません)

## 建築物の設計に係る契約 平成26年度実績調査（概要）

調達機関: 立行政法人地域医療機能推進機

### (1) 環境配慮型プロポーザル方式の実績実績（新築、増築等）

建築物の**建築(新築、増築等)**に係る設計業務

総数 (a) ※環境配慮型プロポーザル方式によらない場合を含む	(a)のうち、プロポーザル方式を実施(環境配慮型プロポは未実施)した件数 (b)	(a)のうち、環境配慮型プロポーザル方式を実施した件数 (c)
0 件	うち 0 件	うち 0 件

環境配慮型プロポーザル方式を実施しなかった主たる理由  
(環境配慮型プロポーザル方式を実施しなかった設計業務がある場合に記入)

理 由	件数
ア)極めて高度な特定の機能に対する要求性能が温室効果ガス等の排出削減に優先する事業	
イ)設計業務発注前に多くの項目について意思決定がなされ優先されるべき事項が決定している事業	
ウ)宿舎等で一連の施設群に対し最初の設計を基に連続的に設計を行う事業	
エ)特段の事情により採択できない理由を事前に公表している事業	
オ)その他	

※イ、ウ)は既に基本設計が行われており、実施設計段階のため環境配慮が困難な事業

エ)又はオ)に該当する設計業務がある場合、その事情をできるだけ記入して下さい。

### (2) 環境配慮型プロポーザル方式の実績実績（大規模改修）

建築物の**大規模な改修工事**に係る設計業務

環境配慮型プロポーザル方式を実施した件数 ⇒	0 件
------------------------	-----

## 産業廃棄物処理に係る契約 平成26年度実績調査（概要）

調達機関： 独立行政法人地域医療機能推進機構

注)平成26年度中に締結した契約件数が対象。  
複数年契約の場合は平成26年度が初年度の場合に該当する。

### (1) 産業廃棄物処理に係る契約件数

産業廃棄物処理に係る契約件数				
	総数(合計) ※入札(裾切り方式)によらない場合を含む	(A) 入札(裾切り方式)を実施した件数	(B) 競争入札 (裾切り方式は未実施)を実施した件数	(C) 随意契約を実施した件数
収集運搬	20 件	2 件	15 件	3 件
処分業	9 件	0 件	5 件	4 件
収集運搬+処分業	60 件	5 件	39 件	16 件
総数	89 件	7 件	59 件	23 件

### (2) 産業廃棄物数量（予定を含む）

産業廃棄物数量(トン)				
	総数(合計) ※入札(裾切り方式)によらない場合を含む	(A) 入札(裾切り方式)を実施	(B) 競争入札 (裾切り方式は未実施)を実施	(C) 随意契約を実施
収集運搬	2228 トン	171 トン	1919 トン	138 トン
処分業	874 トン	0 トン	347 トン	526 トン
収集運搬+処分業	7542 トン	246 トン	5988 トン	1308 トン